

章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち
大項目	02	快適環境の保全と創出
施策	02	環境保全型まちづくり

目的

環境に配慮した舗装を実施することでヒートアイランド抑制効果を高めるとともに、道路施設において、資源の有効活用を進めます。

対象・手段

温度低減効果舗装の実施（遮熱透水性舗装）
 既存資源の有効活用（木製防護柵）

施策の方向

温度低減効果がある舗装の実施や既存資源の有効利用を図ることで、身近なところから、環境に配慮したまちづくりを進めます。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
遮熱透水性舗装の施工面積		遮熱透水性舗装の面積		(毎) 年度に (1,300㎡) の水準達成		
木製防護柵の施工延長		木製防護柵の延長		(毎) 年度に (100m) の水準達成		
				() 年度に () の水準達成		
施策の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	㎡		1300.00	1300.00	
	実績1	㎡		1229.00	1370.00	
	目標達成率1 = /	%		94.54	105.38	
	目標値2	m		100.00	100.00	
	実績2	m		110.70	161.40	
	目標達成率2 = /	%		110.70	161.40	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	環境土木部
-----	-------

主な取組み

平成18年度実績
 遮熱透水性舗装 1,370 m²
 木製防護柵 161.4 m

課題

遮熱透水性舗装については、ヒートアイランド対策に効果がある環境配慮型舗装として、東京都土木技術研究所等の協力の下、試験的に導入しました。今後とも、その効果を検証していくことが必要です。
 木製防護柵については、経年変化による劣化状況を経過観察することが必要です。

評価

総合評価	
<p>本施策は、環境負荷を抑制もしくは減少させるまちづくりを目指しています。特に区が管理する道路において、新たな工法や材料を取り入れ、積極的に環境に配慮した事業に取り組んでいます。 遮熱透水性舗装や木製防護柵の整備は、地域に身近な区道における施策であることから、区民が享受しやすく、事業効果が高い施策であると考えており、今後とも耐久性の検証や性能評価等の検討を続けながら、環境保全型まちづくりの推進を目指すとともに、新たな取組みについても研究していきます。 また、区民等へは、間伐材利用の効果を紹介するなど、資源の有効活用に関する普及啓発を行っていきます。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

研究機関とも連携して評価・検証を進めていきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
環境に配慮した道づくり	B	271		